

ヨーク大学日本語科三学年読解教材

構文と演習：「一生に一度でいいから奥さんの言うことを信じなさい。」

[構文]

① それこそ ～ ぐらいが . . .

1. 戦後の食糧難で、それこそ雑炊ぐらいが大御馳走であった。
2. 毎晩残業続きで、それこそ家に帰って寝るぐらいが唯一の楽しみだった。
3. ひどい就職難で、それこそ夜警にでもなるぐらいが関の山であった。

② たしか . . . た

1. 彼女はたしか今年二十歳になったはずだ。
2. 彼の父親は、たしか彼が学生時代に亡くなったと思う。
3. あの人はたしかこの間どこかで会ったような気がするが、どこだったか思い出せない。

③ ふと . . . と

1. ふと窓の外を見ると、雪がちらちら降り始めていた。
2. ふと彼女の顔を見ると、目に涙が浮かんでいた。
3. ふと気がつくと、飛行機は着陸態勢に入っていた。

④ とっさに . . . とした (が . . .)

1. 目の前に子供が飛び込んできたので、とっさに避けようとしたが、遅かった。
2. 警官に酒を飲んだか聞かれ、とっさに飲んでいないと嘘をついてしまった。

3. ボールが飛んできたので、とっさに避けようとしたが、顔に当たってしまった。

⑤ まさに . . .

1. 大地震^{じしん}のために、大都市はまさに地獄^{じごく}のような状況^{じょうきょう}であった。
2. 親^{けっこん}に結婚^{はんたい}を反対され、二人はまさに生木^{なまき}を引き裂^ひかれるように別れ^{わか}させられた。
3. それではまさに泰山^{たいざん}鳴動^{めいどう}してねずみ一匹^{いっぴき}ですね。

⑥ . . . 瞬間^{しゅんかん} . . .

1. 前の車^{ついとつ}に追突した瞬間、もうだめだとあきらめた。
2. 飛行機^{りりく}は離陸した瞬間、エンジンの一つから火^ふを吹き始めた。
3. 急^{きゅう}に立った瞬間、目の前^まが真^{くら}暗になった。

⑦ . . . た時には . . . た

1. 街^{まち}で昔^{むかし}の彼女とばったり会った時は、慌^{あわ}てたね。
2. 友達に彼女とホテルから出て来るところを見られた時は、参^{まい}ったよ。
3. 喫茶店^{きっさてん}で彼女に泣^なかれた時は、本当^{こま}に困ったよ。

⑧ さすが (に) . . .

1. 長く日本に住んでいただけあって、さすがに日本語が上手ですね。
2. さすが彼も武道家^{ぶどうか}であった。負^まけても愚痴^{ぐち}一つこぼさなかった。
3. 証人^{しょうにん}が出て来ては、さすがの彼も反論^{はんろん}できないだろう。

⑨ ちなみに . . .

1. コンピューターはネットワーク時代に入っていると思います。ちなみに、うちの会社でもサーバーを三つ稼動^{かどう}させています。

2. 前期は会社の売^{うりあげ}上^{ばいざう}が倍増しました。ちなみに、これは昨^わ年の三割増です。
 3. ヨーク大学はカナダで三番目に大きい大学です。ちなみに、学生数は五万六千人強です。
-

[演習]

I. 次の質問に答えなさい。

1. 木や車の数を数えて気を紛^{まぎ}らわせたのはなぜですか。
2. 筆^{ひつ}者^{しゃ}の奥^{おく}さんはなぜキャンプのことをよく知っているのですか。
3. ロッキーのキャンプ場に行く前から奥さんはどんなことを言っていましたか。
4. なぜ一番大きなキャンプ場の一つを選^{えら}んだのでしょうか。
5. 筆^{ひつ}者は、ゲートで係^{かかり}官^{かん}に何を聞きましたか。
6. 係官はなんと答えましたか。
7. 「半^{はん}信^{しん}半^{はん}疑^ぎ」を日本語でやさしく説明しなさい。
8. 食事の後筆^{ひつ}者^{しゃ}の奥^{おく}さんはどんなことをしましたか。
9. 熊^{くま}が出て来た時、筆^{ひつ}者^{しゃ}は何をしていましたか。
10. 「青^{せい}天^{てん}の霹^へ靨^き」を日本語でやさしく説明しなさい。
11. 筆^{ひつ}者は、初^しめ^んなぜあ^あんまり心^{しん}配^{ぱい}していなかったのでしょうか。
12. 熊はどのように筆^{ひつ}者^{しゃ}の前^{まへ}を通^{とお}って行^いきましたか。
13. 熊はなぜあきらめて行^いってしまったのでしょうか。

14. 捕^{つか}まった熊はどうなりますか。

15. 筆者の家族がこのキャンプ場を後にした日に何が起こりましたか。

Ⅱ. 皆さんにも怖^{こわ}かった経験^{けいけん}や困^{こま}った経験^{けいけん}がありますか。みんなで話し合ってみましょう。

Ⅲ. 自分が一番よく覚えている経験について、四百字以内にまとめて下さい。